

はやし 幹 林もとひとと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

早めの避難情報発令 災害時、市町村に助言

知事答弁



9月県議会で一般質問を行う林幹人県議

成ガイドライン(案)をまとめた。

この新たな指針では「避難」に関する考え方が改めて整理されている。例えば「避難」とは災害から命を守るための行動であることが改めて定義され、市町村に

対しては関係機関との調整を進め、避難勧告等の発令基準を平成27年度中を目途に見直すよう求められている。

国の新たな指針では、避

難勧告等の判断基準を分かりやすく示し、判断のために参照する情報も具体的に示されている。国が定めたガイドラインに基づき各市町村において避難勧告や指示等の判断がなされるわけだが、ここで県内で実際に大雨警報等が発令された際、県はどのような役割を担っているのか。

知事 県では、市町村の災害対策を支援するため、大雨警報等の情報が発表された場合は、県防災行政無線等を通じて、速やかにその情報を提供するとともに、災害発生のおそれがある場合は、市町村があらかじめ定めた基準に基づき早めに

避難情報を発令するよう、助言を行っています。

また、県民に対しては、市町村から収集した避難勧告や避難所開設情報等を、県防災ポータルサイトや報道機関等を通じて提供し、災害から身を守るための注意喚起を行っています。

林もとひと県議・プロフィール

○略 歴○		
昭和48年 9月	銚子市に生まれる	
平成4年 3月	銚子市立銚子高校卒業	
平成8年 3月	玉川大学文学部卒業	
	米国ロードアイランド州語学留学	
平成10年 4月	空港グランドサービス入社	
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書	
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)	
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選	
平成23年 4月	千葉県議会議員再選	
○現 職○		
● 県議会	議会運営委員会委員	
● 自民党	ちば青年局・青年部副部長	

9月県議会一般質問 成田市特集

千葉県、そして地元・成田市の発展を目指して政治活動に全力をあげている林幹人(はやし・もとひと)県議は9月県議会一般質問に登壇、異常気象で災害が発生しているのを受け、住民への避難勧告について森田知事に県の考えを聞きまし。また、学校における児童・生徒の暴力行為を取り上げ、県教育長に撲滅へ向けた取り組みを質問しました。林県議の質問と知事や県担当者の答弁を特集します。

林議員 近年、全国各地でこれまでに記録したことのない量の雨が短時間に、しかも限定的な地域に降るゲリラ豪雨や竜巻、あるいは夏場のひょうやあられなどといった、いわゆる異常気象が頻発している。広島土

砂災害では74人の尊い命が犠牲になり、自然災害の脅威が改めて強く認識された。特に避難勧告が発令されたのは土砂災害発生後であったということ、避難勧告や指示の発令基準等につ

いて、見直しの必要性も含め、全国的に関心が高まっている。国は今年4月、災害時に市町村が避難勧告や指示等を出す際の基準などを示した新たな指針「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作

避難勧告などの判断基準

国のガイドラインで策定

林議員 国の新たなガイドライン策定には和歌山県が独自に策定していた「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準」を参考にし、多くの内容を取り入れたと聞いている。

この和歌山県の独自基準は平成23年の紀伊半島大水害での経験

を踏まえ、翌24年に策定されたものだが、具体的な数値が用いられるなどきめ細かい内容になっている。

我が千葉県は3方を海に囲まれ、利根川に隣接し、全国トップクラスの平地面積を有するという非常に特徴的な性質を持つ県であり、和歌山県のように独自のガイドラインがあつてしかるべきではないか。

知事 避難勧告等の発令に当たつての国の旧ガイドラインでは、避難勧告等の具体的な判断基準が示されてる県内の市町村において、

いなかつたため、他県では独自のガイドラインを策定し、市町村に具体的な基準を示した例があります。今回の国の新たなガイドラインでは、災害の種類ごとに判断基準の考え方が明確に示されたことから、県では、このガイドラインに基づき具体的な判断基準を策定するよう、市町村に対し働きかけてまいりました。

その結果、土砂災害や津波災害に備え、具体的な判断基準の策定が必要とされる県内の市町村において、

市町村が策定した具体的な判断基準については、今後、状況の変化に応じて見直しが必要となることから、県としては、引き続き、国のガイドラインに基づき助言を行うなど市町村を支援してまいります。

すべて策定される見込みとなりました。

県のホームページ表記分かりやすく

林議員 障害のある方、子供、高齢者、外国人等、誰にでも分かりやすい千葉県ホームページにするために、どのように配慮しているか。

総合企画部長 千葉県ホームページでは、提供する情報を分かりやすく、見やすく、探しやすいようにするために、約5万ページあるホームページのレイアウトを統一、情報の分類や表現をわかりやすくし、文字を拡大して表示できるようにするなど、すべての人に使いやすいホームページづくりに努めています。



Facebook 林幹人

ホームページ

林もとひと

検索

暴力行為の低年齢化懸念

小学校での発生増加

林議員 学校における児童・生徒の暴力行為が依然として少なくない。昨年12月文部科学省が発表した平成24年度の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果によると、小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は、全国で約5万6千件と前年度とほぼ同数だった。しかし、中でも気になるのが小学校。増加傾向にあって、前年度より1121件多い8296件が発生しており、暴力行為が低年齢化しているのが分かる。

暴力行為はそれ自体が重大な問題だが、学校における児童・生徒の学習環境への影響やひいては不登校やいじめといった、暴力行為以外の問題行動への影響も大きい。発生後の対応はもちろん、防止にも力を注がなくてはならない。

そこだろうか？が、県内における児童・生徒の暴力行為の発生状況はどうか。

教育長 本県の公立小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は、平成24年度で2887件であり、学校種別の状況は、小学校



議場の自席で再質問を行う林幹人県議

では546件、中学校では2056件、高等学校では285件でした。

近年、中学校、高等学校は減少傾向にあります。小学校では増加が続いており、暴力行為の低年齢化が課題となっております。

林議員 暴力行為に対して、県教育委員会はどのような対策をしているのか。

教育長 暴力行為の防止のためには、規範意識の向上を図るとともに、コミュニケーション能力が身に付いていない児童生徒や、自分の感情をうまくコントロールできない児童生徒への対応が重要と考えております。

県教育委員会では、道徳教育の充実等を通して、規範意識の向上を図るとともに、暴力行為防止のための指導資料を活用した生徒指導の充実を努めております。さらに、「豊かな人間関係づくり実践プログラム」を活用し、「コミュニケーション能力やセルフ・コントロールなど、人間関係を構築するための基本的な力を育てております。

今後とも、暴力は許さないという毅然とした姿勢で、暴力行為の防止に努めてまいります。

林議員 現在実施されている指導や豊かな人間関係づくり実践プログラムの意義は理解したが、児童・生徒が指導等を受ける機会・時間が

余りにも少ないように思えてならない。効果を上げるために量的な改善が必要ではないか。

教育長 暴力行為を防止するためには、児童生徒の発達段階や実態に応じて継続的な指導が必要不可欠で、今後とも、道徳の時間のみではなく、教育活動全

体を通じて、本プログラムの活用の促進に努めてまいります。

林議員 暴力行為の防止のために、アンガー・マネジメントやアンガー・コントロールという取り組みもある。こうした新しい取り組みを参考に、進めていただきたい。

教育長 「一括カウンター」の導入を検討していると聞いております。県では、今後の国の動向を注視しつつ、現在実施しております商工会・商工会議所に対します取り組み状況の調査結果を踏まえまして、免税店拡大に向けた対応を検討してまいります。

免税店の拡大へ一括カウンター 国が導入検討

林議員 免税店の拡大に向けて県ではどのように対応しているのか。

商工労働部長 県内にございますも、既に、アウトレットモールや成田空港周辺の大型店などで、免税販売への取り組み事例が見られます。小規模な小売店にとっては、免税店の申請手続きや商品販売手続きの負担が大きいと考えております。こうしたことから、国にお

きまして、既に、アウトレットモールや成田空港周辺の大型店などで、免税販売への取り組み事例が見られます。小規模な小売店にとっては、免税店の申請手続きや商品販売手続きの負担が大きいと考えております。こうしたことから、国にお

LCCが航空需要掘り起す

林議員 最近の成田空港では国内線を中心にLCCの増加が著しいが、県としては、このような状況をどう考えているのか。

知事 成田空港では、発着枠30万回化の合意以降、LCCの新たな乗り入れが

相次いでおり、特に国内線では、現在、11路線、週325便が就航し、国内線全体の6割強となっております。ヨーロッパなど海外の例を見ると、既存の航空会社分に上乗せしてLCCの利用者が増加しており、LCCに

よって新たな需要が掘り起こされていると思われま

成田空港の内線ハブ機能を強化するために、また、国際線LCCは、今後一層の増加が見込まれるアジアからの訪日外国人誘致に、重

要な役割を果たすものと考えています。

林議員 成田空港の活性化には、空港の施設整備や利便性の向上と併せて、空港自体の魅力の向上が必要ではないのか。

知事 空港会社では、さまざまな需要に応えるため、空港の多機能化を図っており、ビジネスジェットや

LCCの専用ターミナルの整備を推進するとともに、空港内店舗のリニューアルを進め、商業施設の充実を図っていると聞いています。

県としても、成田空港の利便性向上などをピーアールするとともに、空港会社と協力して空港の魅力や利用者への快適性の向上にこれからも努めてまいります。

新千歳空港に見る魅力創生

林議員 成田空港の活性化には空港自体の魅力を高めていく必要があるというのは毎回申し上げていることで、成田空港の魅力が高まらなると利用者も集まらな

要は飛行機に乗るためだけではなく、成田空港自体が目的地になる努力をしていかなければならない。

北海道の新千歳空港が一つの良い例ではないかと思う。着陸料などの直接収入以外で、那覇空港と並んでトップクラスをずっと維

持している。

要は、飛行機に乗る人以外にも空港に楽しみに行くというお客様が非常に多いという特徴がある。この新千歳空港、リニューアルしてからは、物販も非常に充実しており、飲食店も豊富。あそこに行けば北海道の名産が全て堪能できる。特にラーメンは北海道中の有名店が全部一堂に会しているようなところだ。

ホテルが併設されているというののももちろんだが、天然温泉を利用した温泉施設があつて、午前10時から翌朝9時までの23時間営業だ。つまりここは、ただ休憩するだけではなく、早朝の利用者にも非常に有効に使われているという側面がある。

この本会議場よりもさらに広いスペースにマッサージチェアが並んでいて、そこでゆっくりと休憩できる。そして、後ろには本棚一杯の漫画本が無料で読めるようになっており、非常にリラクゼーション、また時間を調整するのに素晴らしい施設になっている。

このような、空港自体が目的地になるような素晴らしい取り組みを千葉県としても是非やっていくべきだと思つたので要望していき

また、空港の魅力をより高めるためには周辺の土地利用がポイントになる。前から申し上げているように、IRやMICEなども非常に有効で、前回の質問で取り上げた国際展示場の整備というのもこれに該当する。

そのためにはまとまった土地が必要。成田空港周辺用地は広いように見えるが、持ち主がバラバラに分かれてしまつている。県有地やNAA所有地が混在し、極端に言えばモザイク状に持ち主が分かれてしまつて、非常に使い勝手が悪い土地になっている。

このような状況を踏まえ、県として包括的に利用計画を立てて、主導権を持つて進めていくことが必要なのではないかと思う。待つては羽田においていかれるので、危機感を持って取り組んでいくよう要望する。